

平成 28 年度 下 半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	黒野児童館	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市古市場20番地1		
指定管理者名	社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業団		
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日まで		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	15,646,628円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造2階建 ◇敷地面積:1,284.56㎡ ◇延床面積:599.78㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、図書室、勉強室、体育室、事務室 ※岐阜市立黒野保育所との合築		

●利用状況

		H28下半年	H28上半期	H27下半年	H27上半期	H26 下半年
利用者数 (単位:人)	来館者数	10,577	14,190	11,216	13,857	12,232
	移動児童館利用者数	398	778	467	1,053	678
各室稼働 状況	移動児童館実施回数(単位:回)	10	18	14	14	14
	開館日数(単位:日)	151	157	151	156	151

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①、⑤計画通り実施。 ②所長(常勤)、常勤職員3人。(児童厚生員は、所長を含め4人) ③毎月、児童用・幼児向けの広報紙及び子育て支援カレンダーを作成・配布・掲示依頼を行い、ホームページにも掲載。中日ホームニュースに事業案内を掲載。 ④利用者の要望を理解し、運営。アンケート調査結果を館内に掲示。
自主事業・提案事業	—	—
施設管理	①施設設備の保守点検の実施 ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①適切に実施。保育所休日対応のため、マニュアルに基づき警備保障器具の点検を実施。 ②就労促進事業施設整備班による屋内外清掃を実施。 ③使用していない部屋の消灯、冷暖房節約、節水に努めた。また、地域や母親クラブの協力により集まった牛乳パックやラップの芯などを行事の材料にして利用した。 ④「おもちゃ病院」に児童館のおもちゃの点検、修繕をお願いし、使用期間を延長した。屋外遊具の安全点検を業者が年2回、職員が毎月1回行う。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①大規模な修繕については指定管理者(本部)並びに岐阜市に要望を提出。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①、②、③マニュアル等に沿って適切に実施。 ②消防訓練を1回実施。

●利用者評価

<p>利用者アンケートの実施状況</p>	<p>平成29年3月に子育て支援事業(幼児クラブ)に参加した保護者を対象にアンケート(無記名)を実施 回答者55名(回答率100%)</p>
<p>利用者アンケートの実施結果</p>	<p>○今までに参加したクラブ名 たんぽぽひろば(1歳以上親子広場)22人、ぴよぴよくらぶ(1歳半以上親子クラブ)20人、 スマイルひろば(0歳親子ひろば)13人、リトミックくらぶ(1歳半以上親子リトミックくらぶ)10人 ○クラブを知ったきっかけ 友人16人、館内の貼紙12人、ホームページ11人、幼児版たより10人、子育てカレンダー7人、 保健師さん2名、その他6人 ○幼児クラブの満足度 満足48人、ほぼ満足7人、やや不満0人、不満0人 ○幼児クラブに参加したお子さんの様子 お友だちがたくさんでき、興味を示していた。いつも楽しそう。運動遊びが楽しそう。 前日から楽しみにしていた。お友だちと遊ぶ楽しさが分かった。等 ○幼児クラブでの好きな活動 カンパッジ、工作、足型カレンダー作り、手遊び・紙芝居、ボールカー、体操、遊具遊び、お絵かき、お 菓子作り、 ゆきあそびごっこ、うたあそび、絵本 ○職員の対応の満足度 満足53人、ほぼ満足2人、やや不満0人、不満0人</p>
<p>利用者からの要望・苦情と 対処・改善</p>	<p>要望 ⇒ 回答 ○幼児クラブに望むこと 平日のみだと父親が参加できないので月1でよいので臨時に土日にも教室があるとよい。 ⇒ 他のくらぶやひろば、移動児童館などがあり、新たに開催する曜日や時間なく難しいです。申し訳 ありません。 ぴよぴよくらぶの定員をもう少し増えると嬉しい。 ⇒ 駐車スペースの関係で、定員を増やすのは難しいです。申し訳ありません。 ○児童館に対する要望等 駐車場がせまい ⇒ 駐車場については大変ご不便をおかけいたします。本当に申し訳ありません。みなさまのご協力 に感謝しています。駐車場がいっぱいになった場合、黒野会館の方のご厚意で空いている駐車場を 快く使わせていただいています。ただ、知らない間に駐車場がいっぱいになると困られますので、駐車 の際には事務所へ声掛けをお願いしています。また、参加人数が多いと予想できるときは、黒野小学 校の方のご厚意で駐車場を使わせていただいています。事故など十分にご注意ください。なお、小学 校の児童が20分休み等に一輪車などで走っている場所です。毎日このスペースを児童館の車で埋 めることはできないと思われれます。申し訳ありません。</p>

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表（館内掲示など） ・広範で適切な広報活動の実施（ホームページなど）	A	A	A
		区分評価				A
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用（設置目的）を最大限発揮するものであること	既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業（行事）等の実施	A	A	A
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	・利用者アンケートの実施 ・苦情・クレームへの着実な対応	A	A	A
		利用者に対するサービス向上の方策（窓口対応、プロモーション、設備の整備など）	・移動児童館の実施 ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	A	A	A
		利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	A	A	A
		サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど	・事務分掌等に基づく事務分担の実施	A	A	A
		施設の効用（設置目的）を最大限発揮できるスタッフの配置	・児童厚生員を2人以上、その他の職員（施設が児童センターの場合は体育指導員）を1人以上配置（このうち最低1人は常勤職員とすること）	A	A	A
		区分評価				A
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	指定管理経費の妥当性（収支計画の妥当性など）	・収支計画に沿った運営（予算書に沿った執行）	A	A	A
		管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施（リサイクルやリユース、節水・節電など）	A	A	A
		区分評価				A
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	組織及びスタッフ（採用予定者も含む）の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員（施設が児童センターの場合は体育指導員）を1人以上配置（このうち最低1人は常勤職員とすること）	A	A	A
		スタッフ（採用予定者も含む）の管理、監督体制	・事務分掌等に基づく管理・監督体制並びに事務分担の実施	A	A	A
		スタッフ（採用予定者も含む）の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	A	A	A
		リスクへの対応方策（防止策、非常時の対応マニュアルなど）	・危機管理（リスク）や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
		区分評価				A
区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域（以下「地元」という。）の振興、活性化などに貢献できるものであること	地元の法人その他の団体の育成（一部業務の再委託先）、地元住民の活用（雇用又はボランティア等）	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	A	A	A
		地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加（地元行事への参加）又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	S	S	S
		区分評価				S

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

<p>今期の取組みに対する評価</p>	<p>□児童館の玄関まわりの掲示などをさらに楽しい雰囲気にしたので、今まで参加していなかった子ども行事に参加するようになった。 □ホームページや移動児童館、館内掲示などで新規の利用者が増えた。 □地域に根ざしたアットホームな児童館をめざし、おたよりや館内の掲示、行事案内のポスターなどをさらに充実させ、子どもたちの「ワクワク感」を引き出す努力をした。 □幼児室の本棚を整備し、新しい本などが入ったらわかりやすくなったので、利用者に好評であった。 絵本の貸し出し数は、106人・338冊/年 □アンケートから出た要望などを検討し、利用者が気持ちよく過ごしていただけるよう予算を調整して努力した。 □幼児クラブの活動メニューを見直し、改良を重ねて、参加されるみなさんから喜ばれるものを多く提供できた。 □今期も、さらに新しいぬりえや色鉛筆を増やして幼児や小学生に好評を得た。また、ごほうびのスタンプも種類をふやしたので、児童館でぬりえをぬるということを楽しみに来館する児童、乳幼児が増加した。 □日本の四季を感じる行事にも重点を置き、作品作りの行事などを通して豊かな心を育てる努力をした。 □日頃のコミュニケーションの中で、利用者ニーズをつかめるよう職員全員が心がけた結果、収集した要望を行事や乳幼児の活動に活かす事ができ、好評を得た。 □日常のあそびの中でも国際交流を深めつつ外国籍のみなさんにも楽しんでもらえるように、日本語以外の掲示も増やした。 □研修会などで取得した行事のメニューなどは、職員全員で伝達講習をし合い、職員間で独自に試行錯誤しアレンジをして活動に生かした。 □問題行動を繰り返したり、見守り支援が必要な子どもに対しては、子育てネットワークの委員さんや、保健師や学校(生徒指導の先生を中心)との連携をさらに密にし、地域全体で見守る体制とった。</p>
<p>前回までの意見を踏まえた取組み状況</p>	<p>□今期も引き続き「育児何でも相談」を定期開催し、臨床心理士の先生に子育て不安の解消が出来る場を提供した。 □子育てネットワークにて、地域の子育てに関係する各種団体や幼稚園、保育所、保育園などと情報を共有し地域の子育ての現状や見守りの確認など、連携を密にし、地域の子育て支援に努めた。 □日頃のコミュニケーションやアンケートなどで利用者の要望を把握し、分析することで活動の内容をニーズに合ったものになるように努めたので好評を得た。 □黒野西郷子育てネットワーク事務局として子育て支援カレンダーを毎月作成し、地域の子育て支援情報を発信し、利用者に好評であった。 □児童館での子どもの様子について、保健センターや近隣の小学校との連携を密にし、情報を共有して職員全員が見守り、関係諸団体と連携を継続した。</p>
<p>今後の取組み</p>	<p>□増加する外国籍のみなさんも、黒野児童館で楽しく過ごしていただけるように、日本語以外の掲示も増やして対応していく。 □ひきつづき移動児童館や親子ふれあい教室、団体利用の機会を利用し、児童館の広報を継続する。 □担当のエリア地域の子育て中のみなさんが、1人で育児に悩まず、黒野児童館で気軽に職員や子育て中の親さん同士と話せる機会や場所があるということ、多くの子育て家庭に知っていただけるよう児童館の広報活動に務め、楽しい子育てが出来るように支援していく。 □引き続き、臨床心理士による「だれでも気軽に相談できる」機会として、毎月「育児なんでも相談」の定期開催を継続し、子育て中のお母さんの育児不安の解消や虐待防止等につなげていく。 □おたよりや館内掲示をさらに充実し、「また来たい」と思っていたいただけるような、明るく楽しいアットホームな児童館を目指す。 □0歳から18歳までの切れ目のない対応ができる児童館の利点を発揮できるよう、地域の関係諸団体のみなさんと連携し、情報を共有して、地域のみんなで子どもたちを見守っていく。</p>

●所管課の意見

黒野児童館だより「わんぱく」を毎月作成し、担当6校区の全児童に配布した。また、乳幼児向けのおたより「くろのじどうかんだより」を学期ごと、子育て支援カレンダーを毎月作成し、館内に掲示するとともに、保健師を通じて母子相談員に配布を依頼するほか、ホームページやぶりあねっと、中日岐阜ホームニュース「わっちとおまはん」には事業内容を毎月掲載をお願いするなど、広く児童館を周知した。

地域柄外国籍のお子さんが多く来館されるため、日本の四季を感じる遊びを取り入れたり、日本の文化に触れ親んでもらえるようおりがみの作成を毎月定期的実施した。また、児童や幼児に好評な「ぬりえ」について、新しいぬりえや色鉛筆の種類、ごほうびのスタンプを増やすなど、事業の改善に努めた。

黒野青少年育成市民会議や黒野小学校運営協議会、黒野西郷子育てネットワーク会議に参加し地域の実情や課題を把握したり、それぞれの情報を共有し連携をすることより、地域における子育ての支援を行った。また、臨床心理士による「育児なんでも相談」を毎月開催し、親の子育てに対する不安を解消できる場を提供した。

職員体制や経営状況についても問題なく運営されている。

●指定管理者評価委員会の意見

地域柄外国籍の利用者が多いという特徴がある中で、日本語以外の掲示や日本の四季を感じる遊びを行うなど活動に工夫が見られる。

日頃のコミュニケーションを大切にすることで、利用者ニーズをつかみ、事業に活かすという基本姿勢はとても大事なことであり、今後も大切にしてほしい。

毎月開催されている「育児何でも相談」について、地域の母親の不安解消のため、今後も継続していただきたい。積極的に地域に参画し、密に連携していることについて評価できる。

管理運営は適正に行われており、良好と認められる。